

医療安全に関する患者さんの情報の研究利用についてのお知らせ

この度国立病院機構東京医療センター臨床疫学研究室では、「医療機関における転倒・転落リスク因子についての探索的検討」に関する研究を行うことになりました。

この研究の目的は、入院中に転倒や転落を生じられた患者さんの身体状態や認知機能を調べて、各危険因子にどのような影響を及ぼすかを明らかにすることです。

この研究のため、2014年7月1日より2019年6月末までに治療した方の診療情報などの調査を行います。対象となるのは上記の期間に当院で入院治療を行った方で、調査項目は個人情報を含まない医学的な情報（身体所見や採血データなど）のみです。患者さんのお名前、住所などのプライバシーに関する情報が外部に漏れることは一切ありませんのでご安心下さい。

調査したデータは連結可能匿名化を施し、パスワード付き暗号化をした連結票とともに、本研究の責任者のもとで施錠保管し厳重に管理されます。今回の研究で得られた結果に関しては、医学的な専門学会や専門雑誌等で報告されることがあります。

ご自身のデータを研究に利用することを承諾されない方は下記にご連絡下さい。その場合も、診療上何ら不利な扱いを受けることはありません。

この件に関しましてご質問等がございましたらご遠慮なくお尋ね下さい。

2021年9月

研究責任者

東京医療センター

臨床疫学研究室室長 尾藤 誠司

連絡先 03-3411-0111(代表)